

・・・ 編集後記 ・・・

世界中で広がったコロナウイルス感染症がようやく収束を迎えつつあり、リアルな対面活動の再開も始まっております。しかし、例年にはないほどのインフルエンザの早期からの蔓延や新たな感染症の注意喚起がなされるなどなど、まだまだ心配事は尽きません。

さて、今回発刊いたしました16巻1号は主に2023年8月に開催された第17回日本臨床検査学教育学会学術大会の基調講演や教育講演、教育シンポジウムでご発表いただいた先生方にご執筆いただきました。2022年度入学生から適応されている新カリキュラムにより多くの養成校でも新たな形で臨地実習、臨地実習前技能修得到達度評価をスタートさせ、これからの臨床検査技師に求められる知識や技能そして多様性についても情報を収集されていることと思います。そのような状況の中、基調講演や教育シンポジウムでご登壇いただきました先生方には「カリキュラム改訂後、今後求められる臨床検査技師教育および卒業教育・資

格」について執筆いただいております。また、学生優秀発表賞を受賞された6名の学生さんにもご執筆いただき、次世代の臨床検査技師界を担う若者たちの活躍に編集委員も勇気をもらいました。是非ご一読いただけますと幸甚に存じます。ご協力いただきました先生方、学生の皆さんにはこの場をお借りして御礼申し上げます。

厚生労働省による指定規則の変更や、文部科学省による教育基本法改正や教育振興基本計画の発表により、養成施設は迅速かつ的確に時代に即した改革を求められています。大きな時代の変革にしっかりと追従し、各養成校に所属する教員や臨床検査技師を目指す学生がさらなる飛躍を果たせるよう、本誌でも情報提供をさせていただきます。

各養成校の教員の皆様におかれましても、今回ご協力いただいた方々のご執筆内容が今後の教育の有益な情報となることを願っています。

(令和5年12月4日 編集委員 杉本 恵子)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(令和5年・6年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：市野直浩(藤田医科大学)

委員長：多田達史(香川県立保健医療大学)

副委員長：吉田祥子(東京工科大学)

委員：伊藤洋志(神戸常盤大学)、大津山賢一郎(山口大学)、岡山香里(群馬パース大学)、木村明佐子(国際医療福祉大学)、宿谷賢一(順天堂大学)、杉本恵子(藤田医科大学)、副島友莉恵(東京医科歯科大学)、徳原康哲(香川県立保健医療大学)、西尾美和子(東京医科歯科大学)、野坂大喜(弘前大学)、星 雅人(藤田医科大学)、本木由香里(山口大学)、米谷正太(杏林大学)

臨床検査学教育 第16巻第1号

令和6年3月1日発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本秀生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7
日本臨床衛生検査技師会内
Tel. 080-7228-0508
e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp
http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11
Tel. 03-3238-7501